

◎財産の取得について
(定例会最終日提案)

農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業用地として取得するもので、条例の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

所在 白石市福岡長袋字八斗
地積 5千338・27㎡
時地内

予算

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第1号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ7億7千242万3千円追加し、予算総額を161億8千824万6千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

○旧学校給食センター等解体工事 6千789万4千円

○白石城関連改修・整備工事 3千350万円

○子育て支援・多世代交流複合施設整備事業 3億9千762万7千円

○放射能汚染対策事業 1千178万7千円

○インバウンド推進事業 2千642万2千円

○弥治郎こけし村太鼓橋架け替え工事 2千94万3千円

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第2号)
(定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億7千51万2千円を追加し、予算総額を163億5千875万8千円とするものです。農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業用地の購入費1億3千244万2千円などを計上しています。

本会議質疑より

〔質疑〕子育て支援・多世代交流複合施設整備事業について、今回の補正予算に計上した理由、概要を伺う。

〔答弁〕国の地方創生拠点整備交付金の第2回募集に際し、新たに子育て支援施設が対象施設として追加されたことから、今回申請し、5月31日付

で交付決定を受けたものである。

この事業は、若い世代を中心とした定住支援、子育て支援の強化を図り、さらに多世代の人々が交流体験することによる魅力ある地域づくりの推進を目的としている。

福岡長袋字八斗時地内の学校給食センター跡地を再活用し、大型遊具を設置した年代別の遊戯コーナー、読み聞かせや活動発表ができる多世代交流コーナー、絵本コーナーなどを備えた子育て支援施設を整備するものである。

〔質疑〕この事業用地において、子育て支援施設のほか、一体的な施設を整備する考えはあるのか伺う。

〔答弁〕隣接地については、現在、白石市土地開発公社で土地を取得しており、当該地域を一体的に整備、利活用することを考えている。

子育て支援施設のほか、農商工連携として農産物等販売施設や食事提供施設、6次産業加工施設など、これらの施設により親子で遊んだり、家

族で食事ができるような新たな賑わいの総合施設として計画をしている。

〔質疑〕弥治郎こけし村太鼓橋架け替え工事について、工事を行う具体的な経緯と内容を伺う。

〔答弁〕平成6年4月に開館した弥治郎こけし村の太鼓橋は老朽化が進んでおり、多くの観光客に安心して楽しく施設を利用いただくため、今回、工事を行うものである。

測量設計では、こけし村の指定管理者である弥治郎こけし業協同組合の意見を反映し、どのような工法、部材での架け替えが維持管理上、適切であるか検証しており、その検証を考慮した上で、安全性、耐久性及び効率性を踏まえた設計としている。

〔質疑〕架け替え工事について、もっと低額でリニューアルすることはできなかったのか伺う。

〔答弁〕安全性を重視し、各種基準に基づいた設計としているが、橋の下部、桁下には

ガスなどのライフラインが集中しているため、地上からの施工は困難である。

工事は、クレーンによる現況橋梁の撤去、新設橋梁の敷設など、安全性と工事期間の短縮を図りながら効率性をもったものとしており、また、県の補助事業として採択を受けるには、安全性が最重要視される。

安心・安全を図るため、事故などを起こさないことが最も重要と考えることから、それらを考慮した予算を計上したものである。



架け替え予定の太鼓橋(弥治郎こけし村)